

## 地域医療支援病院業務報告要旨

### I 概要

病院名	フリガナ	エヌティティヒガシニホンカントウビョウイン
		NTT東日本関東病院
所在地		東京都品川区東五反田 5-9-22
管理者氏名		大江 隆史
承認年月日		令和元年 8月 28日
業務報告書提出日		令和5年 10月 3日

### II 業務報告

対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
------	--------------------

#### 1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	① / (② - (③ + ④ + ⑤))	77.6 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	16,237 人
	②初診患者数	22,865 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数 (初診に限る)	646 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数 (初診に限る)	1,308 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0 人
逆紹介率	⑦ / ② - (③ + ④ + ⑤)	84.4 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	17,648 人

#### 2 共同利用の実績

共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	725 件
共同利用病床数	594 床
共同利用病床利用率	0.0 %
共同利用施設・設備	共同利用に係る病床、図書室、研究室、カンファレンスルーム、CT、MRI、核医学検査、骨塩定量測定検査、ホルター心電図、脳波検査、超音波検査(腹部・表在・頸動脈・心)
登録医療機関数	600

3 救急医療の提供の実績 【(1)又は(2)のどちらかを選択すること】

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	( )
救急搬送以外の救急患者数	( )
合計(うち初診患者数)	0 ( 0 )

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送患者数割合

A: 救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	2,738 人
B: 救急医療圏(2次医療圏)人口※	1,170,569 人
C: $A/B \times 1000 > 2$	2.3 (少数点第1位まで記入)

※2次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口(該当2次医療圏における区市町村人口の総和)を用いること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	地域の医療従事者のニーズを確認し、実際の診療に役立つ事を目的とした講演会・研修会・症例検討会を、院内外から講師を招聘して開催している。	
地域の医療従事者への実施回数		19 回
合計研修者数	※院外からの延べ参加人数	908 人
研修体制	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	19 人
研修施設	カンファレンスルーム、6FA-1会議室、6FA-2会議室	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長	
管理担当者	診療情報管理室 担当課長	
診療に関する諸記録の保管場所	・電子媒体 情報システム担当 ・紙媒体 診療情報管理室、外部倉庫	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	医療連携室
	救急医療の提供の実績	医事担当
	地域医療従事者向け研修の実績	医療連携室
	閲覧実績	診療情報管理室
	紹介患者に対する関係帳簿	医療連携室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	診療情報管理室 担当課長		
閲覧担当者	診療情報管理室職員		
閲覧に応じる場所	別館（健康管理棟）モニタリング室		
前年度の総閲覧件数			0 件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0 件
		歯科医師	0 件
	地方公共団体		0 件
	その他		0 件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	5 回		
委員会の概要	<p>■地域医療支援病院推進委員会          日時：第1回 2022年6月7日（ハイブリッド開催）          第2回 2022年9月8日（ハイブリッド開催）          第3回 2023年1月12日（ハイブリッド開催）          第4回 2023年3月16日（ハイブリッド開催）          内容：NTT東日本関東病院からの業務報告、最近の取り組み等</p> <p>■医療連携推進協議会          日時：2022年12月（書面開催）          内容：1年間の主な動き、病院運営の報告等</p>		

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談室		
主たる相談対応者	総合相談室・がん相談支援センター・退院支援・療養支援部門 ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）9名 看護師（がん看護専門看護師1名）12名		
相談件数			15,210 件
相談の概要	退院（転院含む）・外来患者の在宅療養支援、緩和ケアの情報提供、経済面・就労援助、社会復帰支援、診断・治療等に関する情報提供、患者・家族への心理的援助、制度紹介・調整、治療や療養の場での意思決定支援、病状説明理解やセカンドオピニオン支援、症状を抱えながら生活するための支援等		

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	JCI: Joint Commission International (有効: 2020年12月11日~2023年12月11日) 2020年12月に更新認定取得

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	月1回 登録医療機関へ当院の取り組みやセミナーの案内等の発送とメールマガジンを配信し、年4回 広報誌及び連携ニュースレター等の作成・発信を行っている。ホームページでは、診療科・診療部門の紹介や患者の紹介方法、セミナー等について掲載している。また、市民向けには市民公開講座や、がん患者及び家族を対象とした談話会の案内をホームページやサイネージ、院内のポスター掲示等で発信している。

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の有無概要	病棟主体で退院支援を行う体制を強化するため、2020年度から総合相談室の看護師7名を入退院支援職員として各病棟に配置し、病棟看護師と共に退院支援に力を入れている。また、2名を専従の退院調整担当看護師として配置し、調整に時間を要す困難ケースを主に受け持ち、質の維持・向上に力を入れている。がん患者に対しては、がん終末期ケースや医療処置が多いケースなどは、がん相談支援センターと連携し退院調整を実施している。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	<p>1) 東京城南脳卒中ネットワーク (脳卒中地域連携診療計画書(脳卒中連携パス)) →事務局として、回復期4病院と会合を年3回開催している。</p> <p>2) 東京城南整形外科ネットワーク (大腿骨頸部骨折地域連携パス) →事務局として、回復期2病院と会合を年3回開催している。</p> <p>3) 東京都医療連携手帳を活用した 地域医療機関との「共同診療体制の構築」 →内容や運用方法についてホームページや広報誌に掲載し、地域の医療従事者向けの研修を開催している。また、運用方法についてのアンケートを実施し、問題点を検討している。 →市民への理解を図るため、院内のポスター掲示や説明資料を作成し配布している。</p>